

■カツの社会人経験時間プレゼント

目次

| | |
|--------------|----|
| はじめに | 3 |
| 外車整備士時代 | 7 |
| 失業期間その① | 9 |
| 厨房機器サービスマン時代 | 10 |
| 失業期間その② | 12 |

電子部品メーカー現場監督時代 13

カツの社会人人生分析 14

迷走のキャリア 16

ネットビジネスの可能性 17

■はじめに

人生1000年時代、1000年は876600時間。

この時間を何に投資するかで人生の幸福度が決まります。

ちよつと自分の人生を振り返ってみてください。

自分の時間を心そのままに使っていましたか？

はじめまして。カツと言います。大企業の道を捨て、プータローをしながらネットビジネスを学んでいます。

このレポートでは、カツのこれまでの社会人経験を公開、分析して皆さんの今後の道しるべにしてほしいという想いで作成しました。ぜひ役立ててくださいね。

自分達が生まれたこの社会には、すでに仕組みが構築してあり、常識というルールが作られています。

自分達は、みんながやってるからという理由で、疑うことなくルールにのせられて生きてきました。

義務教育で中学卒業まで学び、高校、大学と進んで就職し、結婚し、家のローンを組み、定年を迎え、年金で老後を過ごすというルールです。

ほとんど全ての人間が、このルールの上を歩んでいます。

このルールに疑問を持ったとしても、それが常識だよなっという言葉で思考を終わらせて進んでいく。

考えてみると、全ての人間が洗脳されて同じ方向を歩かされているともいえるのです。

ちよつと怖くないですか？

生まれてから死ぬまでを全て国にコントロールされているのです。

人間が死ぬ時に、80%の人間はもっと自分の心のままに生きればよかった、もっとチャレンジして生きれば良かったという後悔をするそうです。

生まれてから死ぬまでを全てコントロールされているんだから、後悔するのは当たり前ですよ？

全ての人間は必ず死にますし、せつかく生まれてきた人生を、コントロールされたロボットのようにならざるを得ないので、本当にもつたいないと思うんです。

正直に言いますと、自分自身が、これまでずっとルールにのったロボットのようにならざるを得ませんでした。

そこには本当の意味での自分の意志はなかったと思います。

ですが、自分の意志がなかったなりに頑張って生きてきました。そんな感じで過ぎたこれまでの社会人人生でした。

自分が経験した社会人経験を皆さんにプレゼントします。

正直、自分の間違った生き方を参考にしてもらって、より良い人生の選択をしてくれて幸せな人が増えたほうがよっぽど自分も本望です。

では、少しあなたの人生の時間をいただくことにはなりますが、自分の物語を語らせていただきます。よろしくお願ひします。

このレポートの最期にカツの社会人経験を分析して、読んだ皆さんの気づきになるようにしています。

ぜひ最後まで読んでくださいね。

■外車整備士時代

自分は機械系短大を卒業後、深く就職先を探すことをせず、なんとなくかつこいいなという理由で、整備士になろうと思いました。

会社もそのとき募集のかかっていた会社を適当に選んだ感じでした。

現在真剣に就職活動をされてる方からしたら、はあ？って感じだと思います。(笑)
就職活動なんて、この1社しか受けてませんからね。(笑)

本当になめた就職活動だと思います。ただ単に、卒業までの残りの期間を遊びたかっただけです。

自分は一応機械系の短大を卒業しましたが、ただ単に授業の単位を取っていたって感じで、意識高く学んでいたわけではありません。

そして、正直に言うとも車はそこまで好きではありませんでした。

ただ整備士がかっこよさそうというイメージだけで選んだだけでした。

当然ですが、入社後に洗礼をあびることになりません。

整備士の仕事は自分にとって予想以上にきつかったからです。

夏は灼熱の中ですし、冬はとても寒いです。

先輩方は結構怖い人が多かったのです。(笑)

先輩から色々と習ってはいるんですが、なにせ車のことを良く分かってなく、おまけに外車なので構造が結構特殊で、なおさら自分にとって難解でした。

必死でノートをとっていた記憶があります。

最初の頃は定期点検ばかりしていました。

自分の営業所は整備士の人数が少なかったので、忙しい時期になると先輩も余裕がなくなり、自分を見ている時間なんてありませんでした。

そのため、自分も先輩に頼らず必死に自分で考えて仕事をしていました。

分らない仕事を考えながら急いでこなさないといけないというきつい毎日。

ただ、新卒の自分の甘さを根底から破壊してくれて、社会の厳しさをいきなり学べたので、今では感謝しています。

だって自分の人生でこの期間の仕事が一番きつかったからです。

しよっぱななに超きつい仕事に当たるということは、ある意味ラッキーだったのかもしれない。

仕事の基準が整備士時代になるので、その後の仕事がそこまできつく感じなくなるためです。

結局整備士の仕事は丸1年在籍して辞めました。

正直に言いますと、あまりにもきつくて限界がきたからです。

整備士は車が好きな人が、車のことを学んでからスタートするべき仕事だと今なら思えます。

整備士になりたいと思っている方は参考にしてくださいね。

■失業期間その①

整備士の仕事を辞めて、転職活動をするわけですが、将来起業したい気持ちがあったため、経理に強い方がいいかなと思いきや会計事務所に入ることを目指し始めます。

機械系から経理へ・・・頭悪いですよね？（笑）

求人を見たところ、日商簿記検定3級程度の知識が必要だと備考欄に書いてあったので、1か月独学しまして日商簿記3級を取得しました。

そして会計事務所を受けてみたんですが、みごとに落ちました。（笑）

『最低3級ということですからね。』と言われました。（笑）

最低基準なだけだったようです。

この1社を落ちたことから、経理の道はすぐあきらめました。

ただ、短期集中でしたが、貸借対照表や損益計算表などの経営指標を学べたことは大きかったなと今では思います。

■ 厨房機器サービスマン時代

次に選んだ仕事は、厨房機器販社のサービスマンでした。

これは求人誌を見て応募しました。

仕事内容は外回りの仕事で、基本的には厨房機器の定期点検と修理なんですが、営業マンと連携して営業活動もしていました。

なんとなく起業には外回りの経験が必要だと感じたのかもしれませんが。

個人的目標数字があったので、毎月数字に追われている感じでしたが、目標さえ達成すれば結構さぼったりできたので、そういう面は好きでした。

外回りの仕事は道を覚えることが出来るし、毎日違う人に会うので、毎日が新鮮で楽しかったです。

ただ、毎日仕事が終わるのが遅いですし、毎朝商談練習（ロープレ）がありますし、休みが少ないですし、結構嫌な面も多かったです。

そんな中でも色々なことを経験でき、多くのことを学べました。

営業・修理・集金・事務処理などトータルで成長できたと思います。

外回りの仕事は多くのことを学べるので、自分的にはおすすめです。

自分はメンテナンスがメインでしたが、営業の仕事は売るスキルが身につくし、社会人としての基本が身につくので、最初に営業の仕事をするのは、すごく人生にプラスになるのではないかなと感じます。

世の中は売るスキルが基本ですもんね。

■失業期間その②

また失業期間になるんですが、この時、何をとちくるとたのか全国を車で一人旅します。

本州だけを下道だけを使ったきままな旅でした。

新しい県についたら、情報誌を見て、行きたい場所にきままに行き、いたいだけいる。

そんな感じで回ってました。

会社を辞めた爽快感と合わさって、最高に気持ちよかったです。

失業しててお金に余裕ある人にはおすすすめですね。

といっても、車の中で寝てたので、そこまでお金かからなかったですが。(笑)
気持ちいいですよ！(笑)

■電子部品メーカー現場監督時代

大手電子部品メーカーに入社しました。

希望はメンテナンスの仕事だったんですが、現場監督をやることになりました。

最大で部下50人ほどいたんですが、現場監督の仕事は上司と部下の板挟みです。トレスがたまります。(笑)

中間管理職みたいな感じですよ。

一日の始まりは、PCのメールチェックからで、100件くらいメールがきてます。

ゆっくり見ると時間がなくなるので、全体的にざっと見て、重要なメールだけじっくり見るみたいなスタイルでやりました。

部下の勤怠管理から生産遂行管理、資材管理、安全管理、小集団活動のサポート、自分のテーマ遂行など、頭使うことばかりで、問題解決能力や改善能力が結構問

われる仕事だったと思います。

ストレスはたまりませんが、学べることも多かったのでいい経験でしたね。

工場は休みが多いので、休みに何かやりたいことがある人は選ぶ価値はあると思います。

ただ生産作業者の仕事は、かなり単純労働になるので、成長的には、あまり価値はないかなと思います。

割り切ってやるんでしたら問題なしです。

現場監督の仕事は結構やりがいもあるし、勉強にもなるんですが、ストレスがたまりません。

ストレス耐性がないのでしたらやめたほうがいいかもしれませんね。(笑)

■カツの社会人経験の分析

さて、ここまで起業志望のカツの社会人経験を語ってきましたが、問題点をあげ

ていこうと思います。

あげていこうと思っただんですが、結局1つの問題に集約されます。

今自分のキャリアを振り返ってみると、はっきり言って迷走してるんですよね。ではなぜ迷走してるかと言いますと……

” **起業に必要な経験が分かっていない。** ”

この一言に尽きるんじゃないでしょうか？

リサーチ不足でもありますね。

おそらく過去の自分が持っていた起業のイメージって、

1000万円くらいの初期投資が必要で、店舗作って、従業員雇って、商品を在庫として抱えて、集客してみたなことを考えていたんだと思います。

ようは、起業に対して多額の資金がかかって、リスクも高く、難易度も高いというイメージを持っていたんだと思います。

なので、起業はしたいんですが、何かからやっていいのか具体的なイメージがまったくもてていないため迷走のキャリアを歩んだんだと思います。

■迷走のキャリア

ずっと正社員で働いてきましたし、給料も結構良かったです。

人によつたらいいキャリアを歩んでいると思う方もいるかもしれませんが、今回語ったキャリアが起業の能力を直接高めることにはつながりません。

残念ながら・・・。

理由は、会社員の仕事って組織の中の一部分を担う形になるので、ビジネスの全体像が見えないんですね。

今ネットビジネスに出会って学んでいるから言えるんですが、

ビジネスマンは、ビジネスの全体像をまず理解しないと駄目です。
ビジネスの型ですね。

ビジネスの全体像の型が分かってないから迷走するんですよね。
真つ暗闇の中を手探りで歩くようなものです。

■ ネットビジネスの可能性

もし、自分が学生時代にネットビジネスに出会い、
深くビジネスというものを理解して学んでいたとしたら全然違うキャリアを歩んで
いたでしょう。

または、学生の時に起業していたかもしれません。

それくらいネットビジネスを学ぶということは、ビジネスの本質を学ぶことが出
来ます。

そして、インターネットの恩恵により初期投資もほとんどかかりません。

初期投資がかからないということは、何度もトライ&エラーが出来るということです。

成功するまで何度もチャレンジし、そのチャレンジの中で学んだことは確実に自分の血肉になり成長します。

そして、自分自身の希少性が高まっていきます。

収益を生む仕組みを一度構築したら、その仕組みは自分が働かなくても収益を生み続け、あなたに自由な時間を与えてくれます。

このレポートの冒頭に言いましたが、人生が自由になれば、あなたは心のままに生きることが可能です。

人生を謳歌して、最高の人生を全うできるのです。

これって最高じゃないですか？

自分は後悔して死ぬのなんてまっぴらゴメンです。

ここまで読んでくれたあなたもきつとそうです。

ネットビジネスを学んであなたの人生を激変させませんか？

そして最高の人生を謳歌しませんか？

それが本当の人生だと思いませんか？